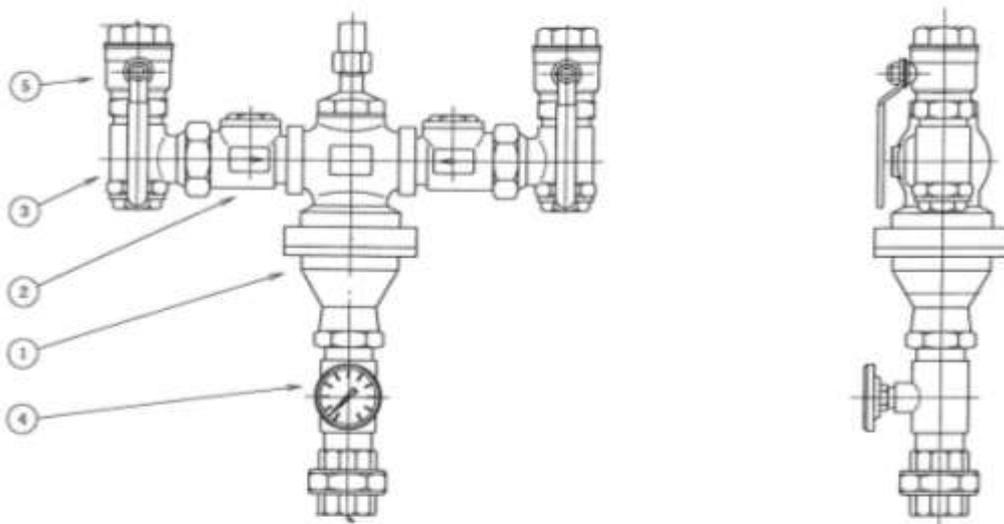


GUS-4002/5002 用 メンテナンス ガイド

ご使用中のユニットのメンテナンスについて、症状別にメンテナンス方法をご案内いたします。
メンテナンスにつきまして、十分安全に配慮し行ってください。
また、下記の点は特に注意して作業を行ってください。

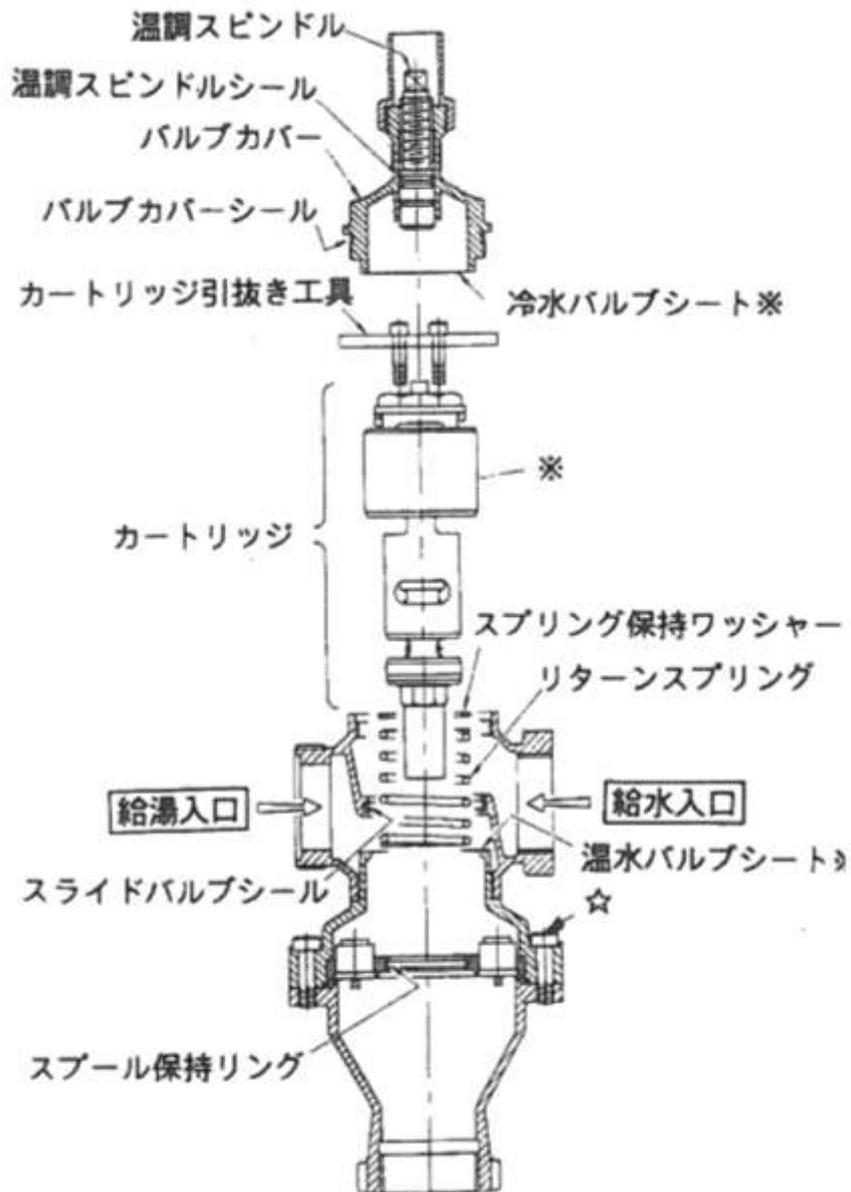
- ⚠️ **ユニット用メンテナンスバルブを閉にして下さい。**
- ⚠️ **ユニット内の残圧が残っていないか確認して下さい。**
- ⚠️ **配管が高温になっている場合があります、ご注意ください。**



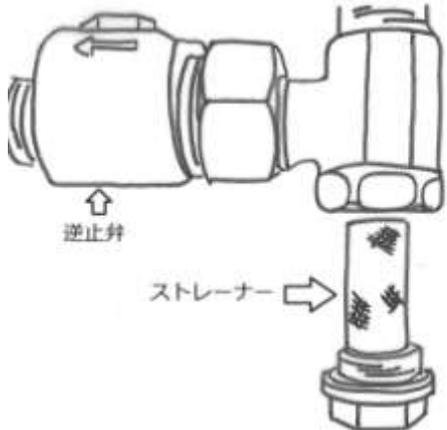
⑤	ボールバルブ
④	温度計
③	ストレーナー
②	逆止弁
①	RADA ミキシングバルブ
符号	名称

内部部品構造

元制御用「HORNE—GUS」シリーズは、ミキシングバルブ内部の「カートリッジ」又は「サーモスタットエレメントアッセンブリ」を交換することにより初期の性能を回復することができます。



日常点検

	定期点検事項	対処
①	給湯圧力・給水圧力の確認 ☆定期的に点検してください。	ご使用条件から外れている場合は、調整してください。
②	ストレーナーにゴミ等で スクリーンが目詰りがないか？ ☆定期的に点検ください。	プラグを外し、中のスクリーンを清掃又は交換してください。 

目次

- 手順1・・・温調スピンドルシールの交換方法。
- 手順2・・・カートリッジの交換方法。
- 手順3・・・カートリッジ内部サーモスタットエレメントの交換方法。
- 手順4・・・逆止弁確認方法。

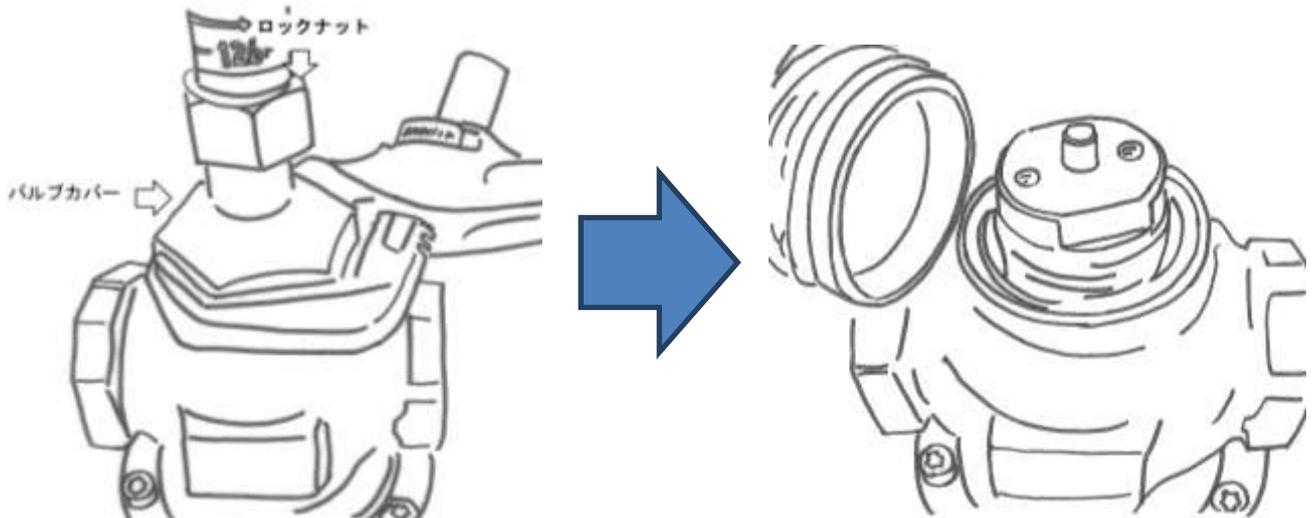
故障診断

	症状別項目	メンテナンス内容	参照手順
①	温調ノブ部分から漏れがある。	・温調スピンドルシールの交換が必要です。	手順 1 (P5)
②	温調ノブが動かない。	・温調ノブスピンドルの固着もしくは、カートリッジ固着の可能性があります。	手順 1 (P5)
③	希望の温水温度が得られない。 温水温度が安定しない。	・ストレーナーのつまりの確認をして下さい。 ・供給条件を確認して下さい。 ・内部部品固着又は劣化の可能性があります。	手順 1～3 (P5～P10)
④	希望の温水量が得られない。	・ストレーナーのつまりの確認をして下さい。 ・供給条件を確認して下さい。	
⑤	温調ノブを右、左に動かして、 温水温度を変えることが 出来ない。	・ストレーナーのつまりの確認をして下さい。 ・供給条件を確認して下さい。 ・内部部品固着又は劣化の可能性があります。	
⑥	給水側の配管が熱くなったり 給湯側の配管が冷たく なっている。	・逆止弁の逆流の可能性があります。	手順 4 (P11)
⑦	適温になるのに時間がかかる。	・逆止弁の逆流の可能性があります。	
⑧	温度計が正しい温度を示さない。	・温度計を交換して下さい	

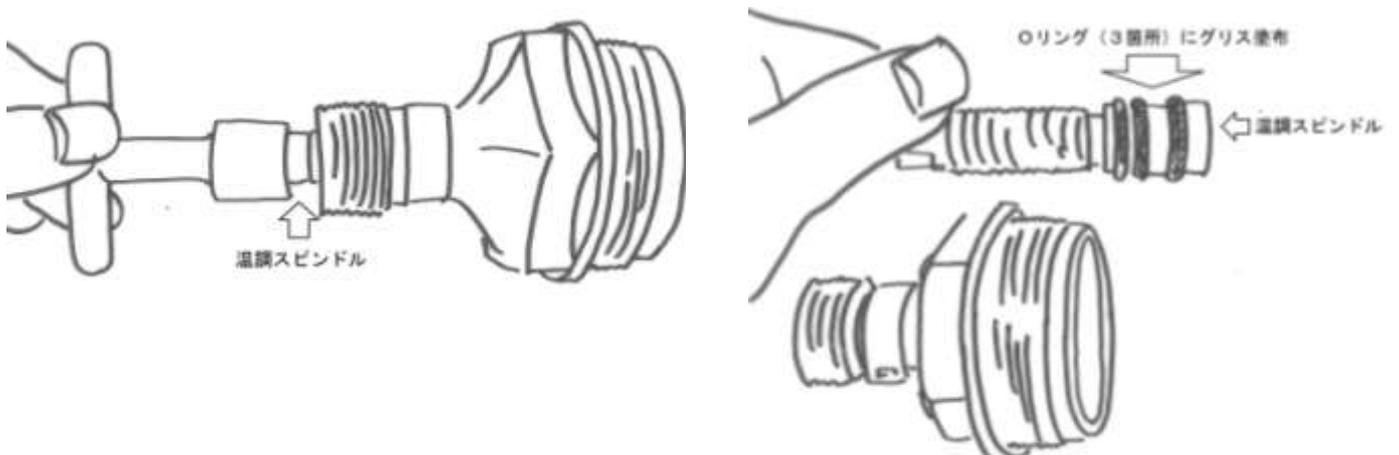
手順 1

・ 温調スピンドルシールの交換方法

- ① ロックナットを外し、バルブカバーを外して下さい。



- ② 温調スピンドルを時計方向にいっぱい回した後、内側に押し出して下さい。
古いOリングを外し柔らかな布で残渣を取り除き、新しいOリングに適量シリコングリスを塗布しバルブカバー内側から押し込み温調スピンドルを反時計方向にいっぱい回転させてください。

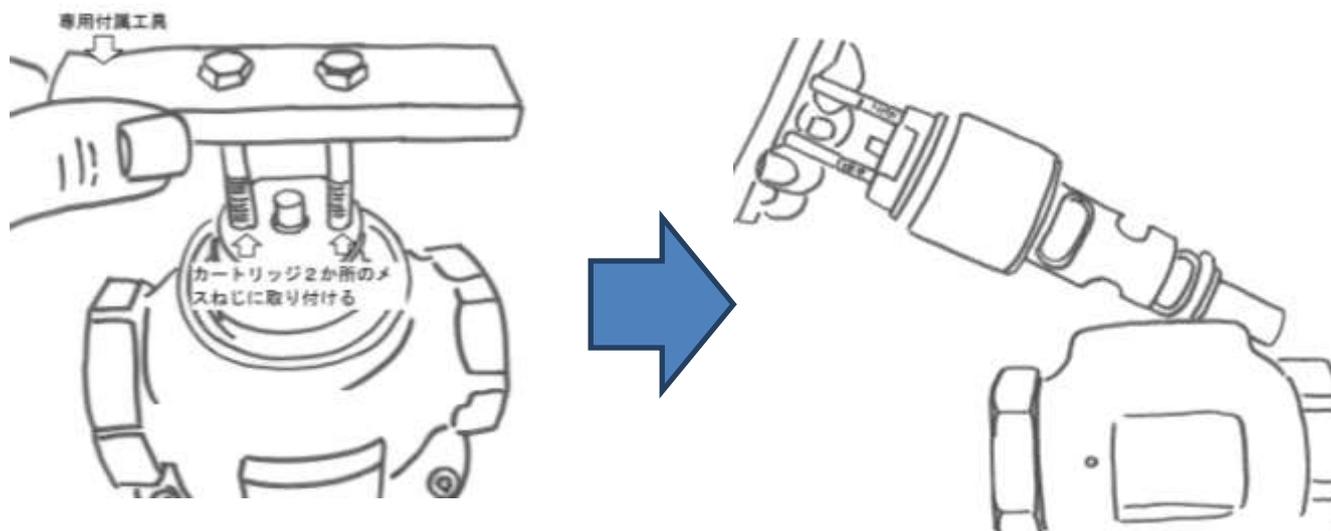


- ③ 「バルブカバー」を取付け際は、本体内部カートリッジにはスプリングの力がかかっています、バルブカバーを抑えながら取付け下さい。

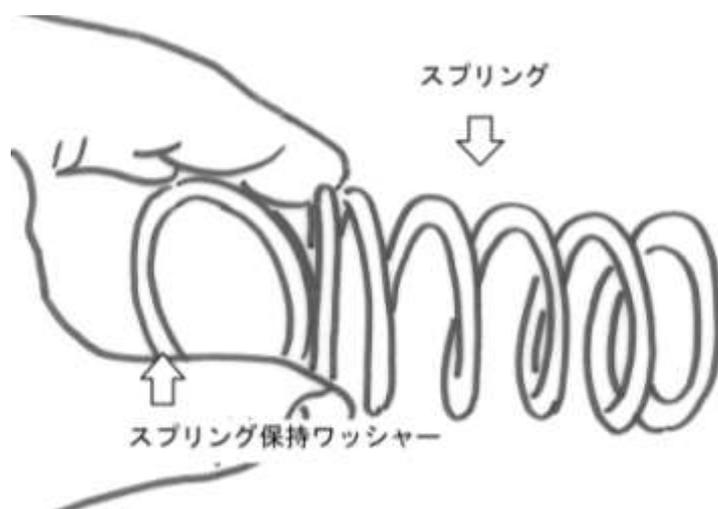
手順 2

・カートリッジの交換方法

- ① 手順の要領でバルブカバーを外して下さい。
納入時に付属工具を下記のようにセットしカートリッジを引き抜いて下さい。



※この時「スプリング保持ワッシャー」と「スプリング」が本体側に残る場合があります。確認し取り外して下さい。

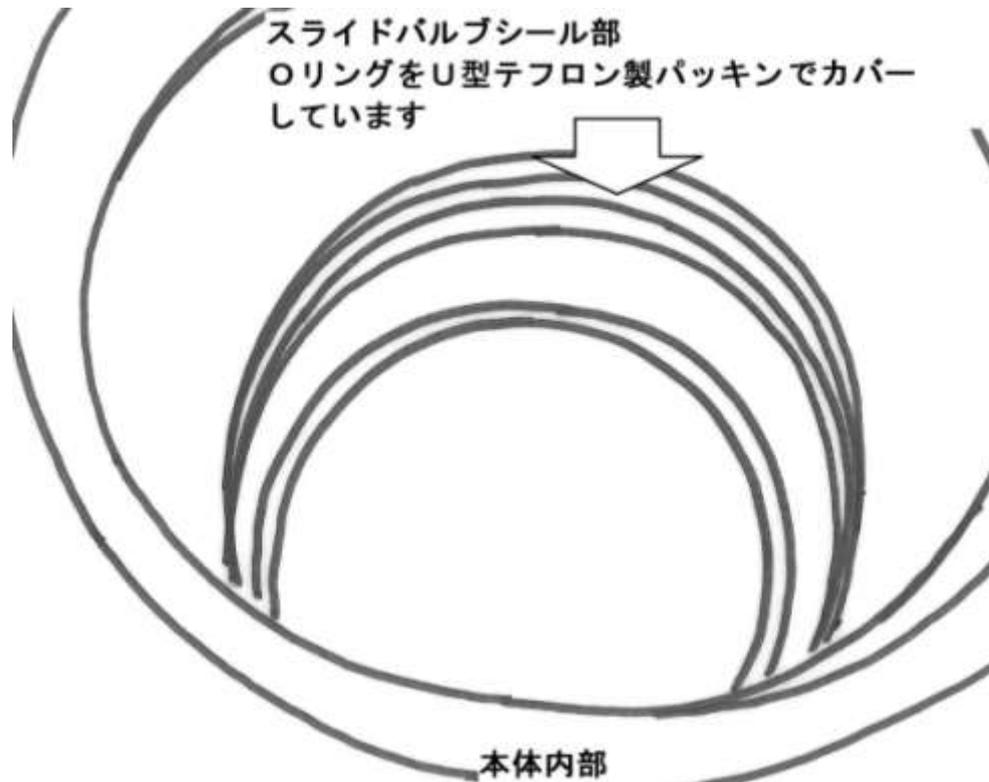


② 本体内部のスライドバルブシールを交換して下さい。

「スライドバルブシール」は“O”リングにU型テフロンパッキンでカバーし2重構造です。針の先のような細いもので「引っかけて」外して下さい。(U型テフロンパッキン・“O”リング共)。

古いパッキンの残渣を取り除き、新しい“O”リングを白色のU型テフロンカバーをセットし本体にシール溝にセットして下さい。

セット後均等にセットされているがご確認ください。



③ 新しい「カートリッジ」をセットして下さい。

「バルブカバー」を取付け際は、本体内部カートリッジにはスプリングの力がかかっています、バルブカバーを抑えながら取付け下さい。

④ 温水を出しながら設定温度で運転できるか確認下さい。

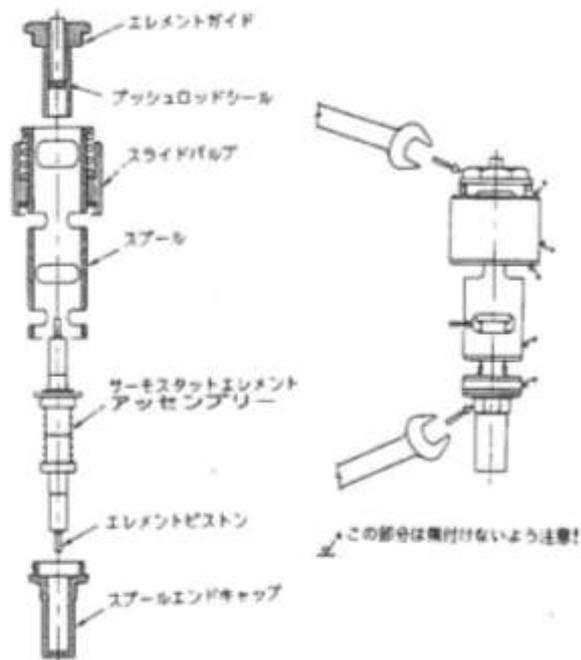
※ 新しいサーモスタットのならしを下記の要領で行って下さい。

温水を出しながらミキシングバルブの温調スピンドルを専用キーで素早く時計方向にいっぱい回し、その後反時計方向にいっぱい回して下さい。

この作業を数回行って下さい。

手順 3

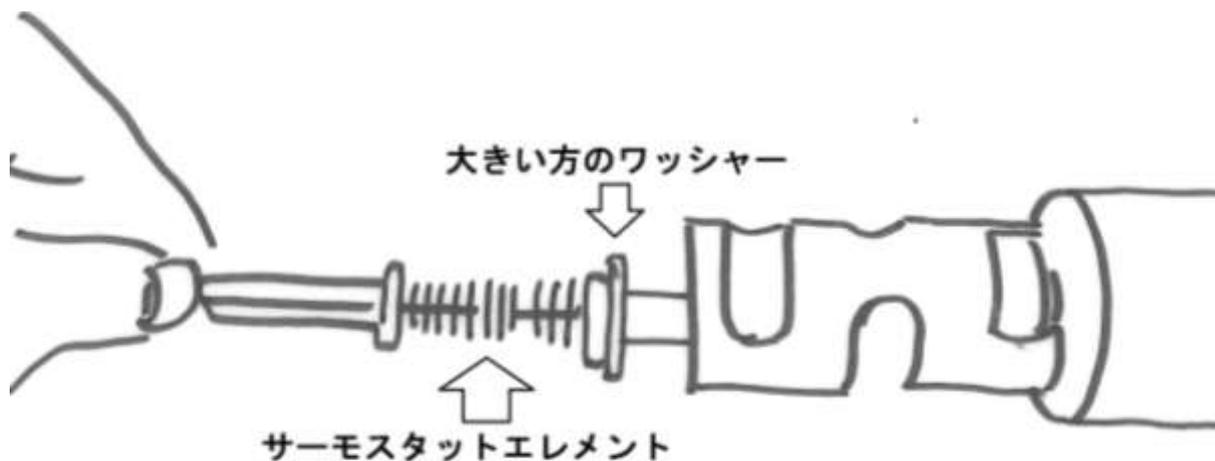
- ・ カートリッジ内部サーモスタットエレメントの交換方法
(サーモエレメントのみの交換要領です)



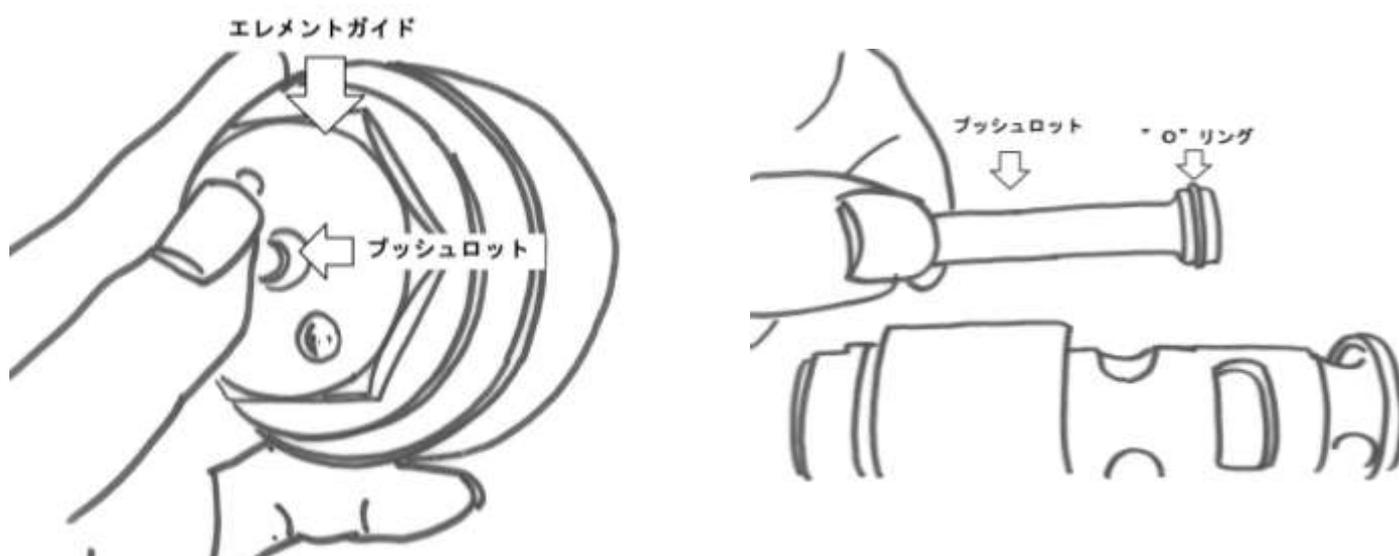
- ① カートリッジ交換容量の手順でカートリッジを取り外して下さい。
この時「スライドバルブシート」も交換して下さい。
- ② カートリッジの「スプールエンドキャップ」を外して下さい。



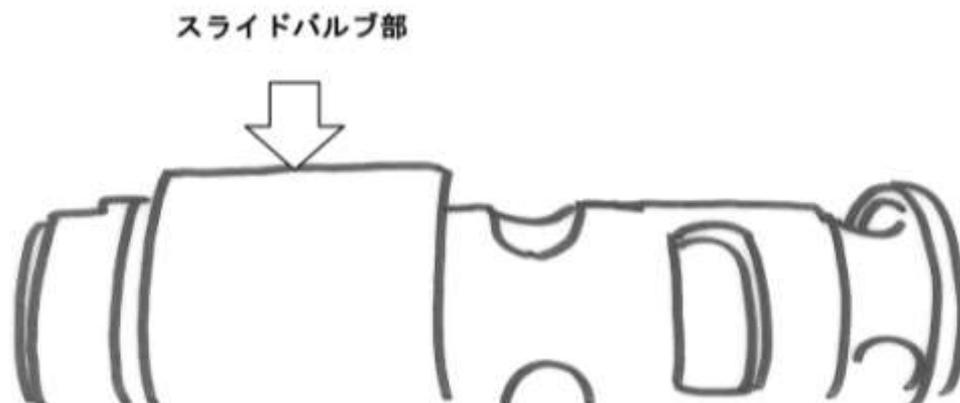
- ③ 「サーモスタットエレメント」を抜き取って下さい。



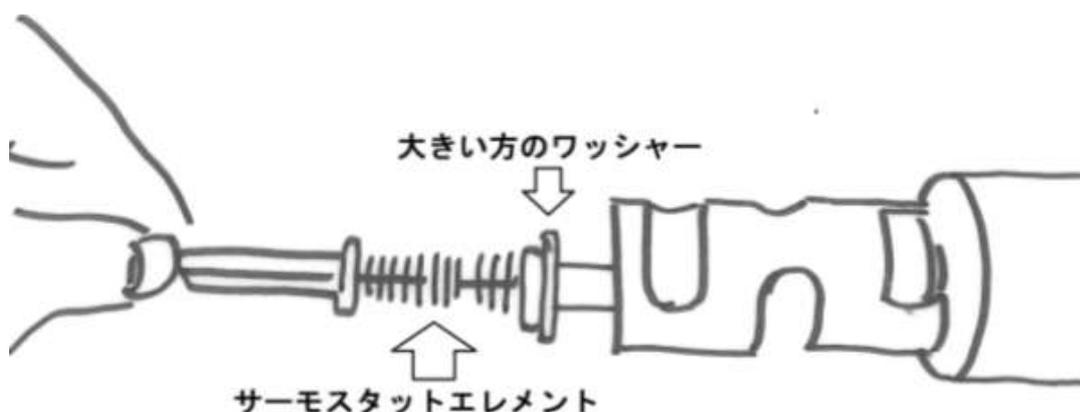
- ④ 「エレメントガイド」から「プッシュロッド」を内側に押し出し「プッシュロッド」の”O”リングを交換して下さい。
“O”リングには適量シリコングリスを塗布して下さい。



- ④ 「スライドバルブ部」を柔らかな布で汚れを取り除いて下さい。
※決して傷をつけるような、「ヤスリ」「金属製ブラシ」などでこすることはおやめ下さい。



- ⑤ 「サーモスタットエレメント」の大きなワッシャーをカートリッジの奥に来るようにセットし「スプールエンドキャップ」を取付け、「カートリッジ」をセットして下さい。

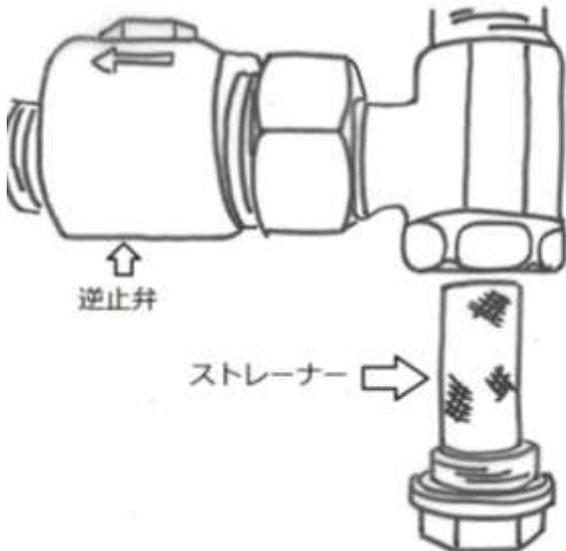


※「バルブカバー」を取付け際は、本体内部カートリッジにはスプリングの力がかかっていまず、バルブカバーを抑えながら取付け下さい。

- ⑥ 温水を出しながら設定温度で運転できるか確認下さい。
※ 新しいサーモスタットのならしを下記の要領で行って下さい。
温水を出しながらミキシングバルブの温調スピンドルを専用キーで素早く時計方向にいっぱい回し、その後反時計方向にいっぱい回して下さい。
この作業を数回行って下さい。

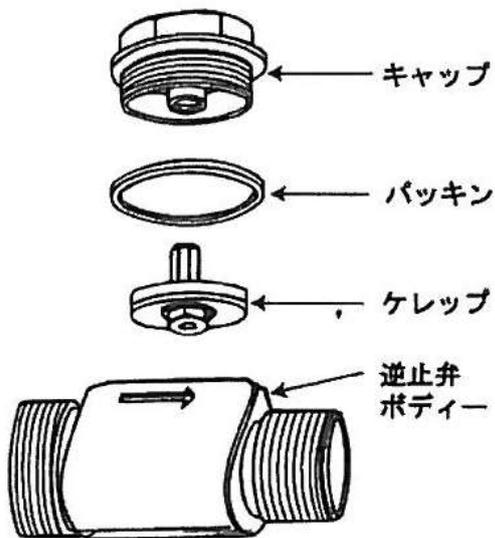
手順 4

・ 逆止弁の逆流確認方法。



- ①給湯・給水のメンテナンスバルブを閉めユニット内の残圧を取り除いて下さい。
- ②ストレーナーのキャップを片側のみ外して下さい。
- ③温水出口のバルブを閉じて下さい。
- ④外したキャップの反対側のメンテナンスバルブを少しずつ開けてください。
- ⑤全開にしても外したストレーナーから漏れ出さなければ、逆止弁機能は正常です。

・ 逆止弁の分解方法と交換方法。



- ①給湯・給水のメンテナンスバルブを閉めユニット内の残圧を取り除いて下さい。
- ②逆止弁部のキャップを外し内部ケレップと弁座の汚れを柔らかい布などで清掃した後、逆流の確認をして下さい。
- ③逆流が解消されない場合は、ケレップの交換又は逆止弁本体の交換をして下さい。

ホームページQRコード



〒561-0817 大阪府豊中市浜 2-10-3
TEL.06-6336-0321 FAX06-6336-1529
<http://www.japan-leonard.co.jp>



有限会社 北海道レオナード	〒004-0002 札幌市厚別区厚別東2条5-24-8 TEL: 011-898-1096 FAX: 011-898-1107
有限会社 オーク技研	〒041-0837 北海道函館市陣川町2-6-8 TEL: 0138-56-1131 FAX: 0138-56-1187
株式会社 東京レオナード商会 浦和センター	〒338-0832 埼玉県さいたま市桜区西堀3-23-11 TEL: 048-866-0711 FAX: 048-866-2160
株式会社 東京レオナード商会 東京営業所	〒170-0011 東京都豊島区池袋本町1-17-4-203 TEL: 03-5952-5788 FAX: 03-5952-5586
株式会社 東京レオナード商会 東北営業所	〒989-2411 宮城県名取市本郷字大門25-18 TEL: 022-384-8305 FAX: 022-384-8306
株式会社 横浜レオナード商会	〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町235番地 TEL: 045-507-6181 FAX: 045-507-6182
株式会社 中部レオナード	〒454-0997 愛知県名古屋市中川区万場4-815 TEL: 052-526-2030 FAX: 052-526-2031
株式会社 日本レオナード商会 福岡事務所	〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原1-23-4-103 TEL: 092-511-2733 FAX: 092-553-2313
本装置の取り扱いに関して不審点、不明点がありましたら、どうぞ遠慮なく御連絡下さい。	
サービスコール ☎0120-71-0321	
	